

## マスカーニ《小マラー》初版楽譜（水谷彰良コレクションより）

《小マラー（*Il piccolo Marat*）》3幕のリブレット（libretto in tre atti）

台本：ジョヴァッキーノ・フォルツァーノ（Giovacchino Forzano,1884-1970）

作曲：ピエートロ・マスカーニ（Pietro Mascagni,1863-1945）

初演：1921年5月2日、ローマ、コスタンツィ劇場

### メモ

ファシズム時代にマスカーニが発表したオペラ。フランス革命を題材にしながらも、主人公の小マラーがムッソリーニを想起させてファシストに支持された。声楽的にも小マラー役のテノールに激しいテノール・ドラマーティコスピントの発声を要求され、マスカーニ自身も「小マラーは鋼鉄の筋肉を持つ。彼の力は彼の声の中にある。語らず、歌わず、叫ぶ！ 叫ぶ！ 叫ぶ！ 私はこのオペラを握り締めた拳で書いた、自分の魂のように！（中略）《マラー》の中には血があるのみ！ それは私の良心の讃歌なのだ」と述べている。初演は1921年5月2日にローマのコスタンツィ劇場で行われ、熱狂的成功を収めた。台本作家フォルツァーノはプッチーニ《聖女アンジェリカ》《ジャンニ・スキッキ》、マスカーニ《ロドレッタ》の台本も手がけている。



### 初版楽譜

◎初版楽譜（ピアノ伴奏譜） ミラーノ、ソソゾーニョ音楽社、1921年。プレート番号：M 2202 S

**Spartito riduzione per canto e piano., Casa musicale Sonzogno., Milano, 1921. [First edition]**

\* 1 vocal score ([12], 243 p.); 32 cm, N. di lastra: M 2202 S

[Collezione privata di Akira Mizutani - Tokyo]

### タイトル頁記載：

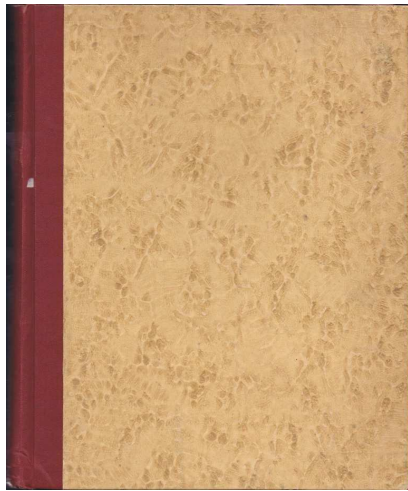
Pietro Mascagni / Il piccolo Marat / Libretto in 3 atti / di / Giovacchino / Forzano / Riduzione per Canto e Pianoforte / di / Guido Farinelli / Casa Musicale Sonzogno / Milano / 2202

### 初版楽譜の概要

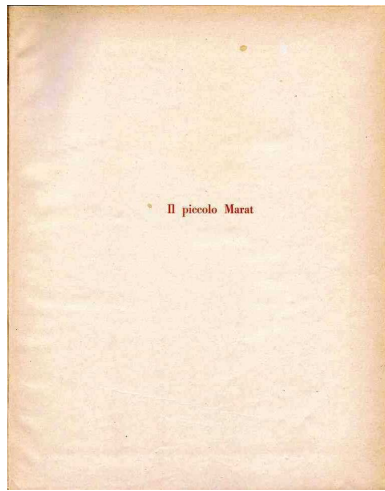
《小マラー》の初版楽譜は1921年にミラーノのソソゾーニョ音楽社（Casa musicale Sonzogno）の刊行したピアノ伴奏譜である。筆者所蔵のそれは、布／紙装のハードカバーに再装丁されたアイテムで、外装32×26cm、楽譜部分は31×25cm。プレート番号：M 2202 S。

楽譜に先立つ12頁は、[1]:ハーフタイトル（題名のみ）[2]:無地 [3]:タイトル頁 [4]:クレジット（中央の最下行にCopyright 1921, by Casa Musicale Sonzogno 最下部にARTI GRAFICHE GUSTAVO MODIANO & C. - Milano）[5]:人物表（Personaggi.）[6]:無地 [7]:ミシュレからの引用 [8]:無地 [9]:目次 [Indice] [10]:無地 [11]:第1幕の舞台設定 [12]:無地。楽譜は全243頁（pp.1-243）。なお、第2幕の舞台設定はp.110とp.111の間、第3幕の舞台設定はp.198とp.199の間に挿入されている（ノンブル無し。裏無地）。

第2版に相当すると断言しうる楽譜の存在は現時点で確認できないが、1963年にソソゾーニョ社が初版楽譜のコピーに基づく再版をしており、これが現行版と解釈されているものと思われる。



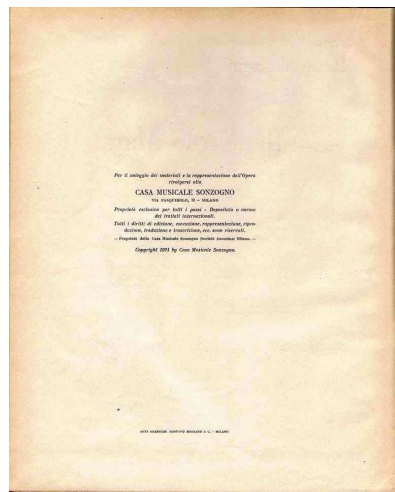
外装



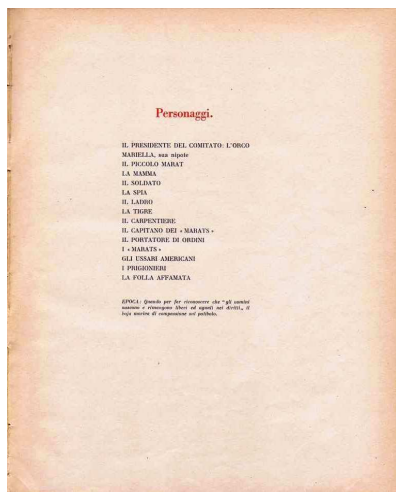
[1] ハーフタイトル



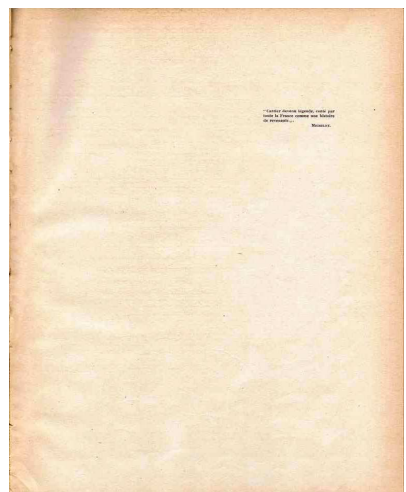
[3] タイトル頁



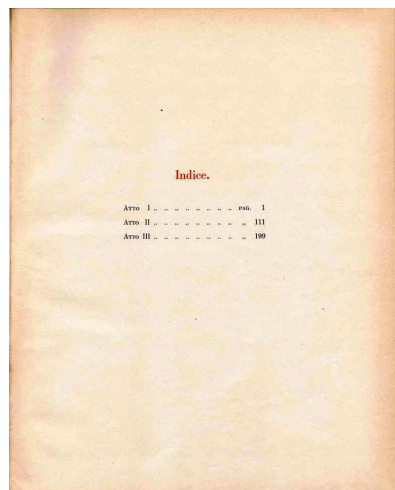
[4] クレジット



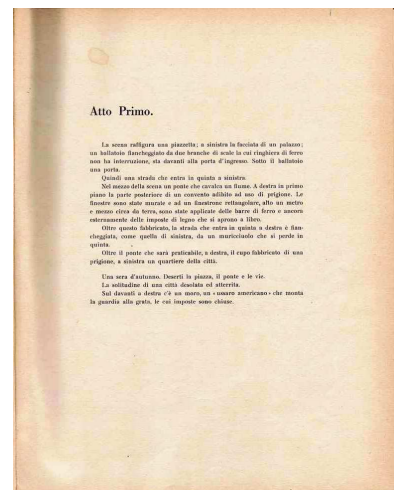
[5] 人物表



[7] ミシュレからの引用



[9] 目次



[11] 第1幕の舞台設定



第1幕冒頭頁(p.1)